

岡山県知事 殿

所在地
病院名
管理者氏名

措置入院者定期病状報告書

下記の措置入院者について、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第1項の規定により報告します。

措置入院者	フリガナ		生年月日	年 月 日生 (満 歳)
	氏 名	(男・女)		
	住 所	都道府県	郡市区	町村区
措置入院年月日	年 月 日	今回の入院年月日	年 月 日	
		入院形態		
前回の定期報告年月日	年 月 日			
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー()	3 身体合併症	
過去6か月間(措置入院後3か月の場合は、過去3か月間)の仮退院の実績	計 回	延日数	日	
過去6か月間(措置入院後3か月の場合は、過去3か月間)の治療の内容とその結果 〔問題行動を中心として記 載すること。〕				
今後の治療方針 〔再発防止への対応も含め〕 て記載すること。〕				
処遇、看護及び指導の現状	隔 離	1 多用 2 時々 3 ほとんど不用		
	注 意 必 要 度	1 常に嚴重な注意 2 随時一応の注意 3 ほとんど不要		
	日常生活の介助 指導の必要度	1 極めて手数のかかる介助		
		2 比較的簡単な介助及び指導		
	3 生活指導を要する			
	4 その他()			

診察した精神保健指定医の氏名	署名
----------------	----

審査会意見	
県の措置	

- (注) 1 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。
- 2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。(特定医師による入院を含む。その場合は「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。)なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 重大な問題行動の欄は、Aはこれまでに認められた問題行動を、Bは今後おそれのある問題行動を指し、該当する全ての算用数字、A及びBを○で囲むこと。
- 4 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等及び現在の状態像の欄は、原則としてこの報告書作成時までの過去数か月間に認められた症状等について記載するものとし、主として最近のものに重点を置くこと。
- 5 診察時の特記事項の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象、措置入院継続の必要性等について記載すること。
- 6 診察した精神保健指定医の氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 7 退院に向けた取組の状況の欄については、退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期やその後の相談の頻度等や、地域援助事業者の紹介の有無や紹介した地域援助事業者との相談の状況等について記載すること。
- 8 選択肢が記載されている欄においては、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。